



2022年

ネクタリン病害虫防除暦

J A 中野市営農センター

回数	散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100 ㍓当り)	収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 ㍓/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水 98 ㍓) スプレーオイル 2㍓ アブロードフロアブル 100m㍓ キンセット水和剤 80 100g	発芽前 7日前 開花直前	— 2回 5回	300	せん孔細菌病 (縮葉病) カイガラムシ類幼虫 ハダニ類	①【代替】キンセット水和剤 80・アブロードフロアブルに代えて、石灰硫黄合剤の 10 倍 (発芽前) でもよい。 *石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールにかからないよう注意する。 ②せん孔細菌病 発生園は、開花前にキンセット水和剤 80 の 1,000 倍 (開花直前まで、5 回) を特別散布する。
◆ せん孔細菌病対策：重要防除期間 (開花直前 ~ 6 月中下旬) の防除と併せて春型枝病斑の切除を徹底し、園地内の菌密度を減らす。								
2	月 日	開花直前	アビオン E (展着剤) 100m㍓ IC ボルドー 412 3.3kg	—	—	350	せん孔細菌病	*せん孔細菌病対策 開花期~6月まで、春型枝病斑の切除を徹底する ①アブラムシ類 発生園は、落花直後の散布にウララ DF2,000 倍 (7 日前、2 回) を加用する。 ②うどんこ病対策 (もも混植園) 【代替】落花直後：トレノックスフロアブルに代えて、パレード 15 フロアブルの 2,000 倍 (前日、2 回) を使用する。 【代替】5 月中旬散：トレノックスフロアブルに代えて、ストロビードライフフロアブルの 2,000 倍 (前日、3 回) を使用する。
3	月 日	落花直後	アビオン E (展着剤) 100m㍓ サムコルフロアブル 10 20m㍓ トレノックスフロアブル 200m㍓ マイコシールド 66g	3日前 30日前 28日前	2回 5回 5回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ ハマキムシ類 シンクイムシ類 コスカシバ	
4	月 日	5月中旬 (前回から 10日後)	アビオン E (展着剤) 100m㍓ モスピラン顆粒水溶剤 25g トレノックスフロアブル 200m㍓ マイコシールド 66g	3日前 30日前 28日前	3回 5回 5回	400	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類	
5	月 日	5月下旬 (前回から 10日後)	アビオン E (展着剤) 100m㍓ トレノックスフロアブル 200m㍓ ハチハチフロアブル 50m㍓ マイコシールド 66g	30日前 前日 28日前	5回 2回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類	①【代替】シンクイムシ類 (カメムシ類) 発生園は、ハチハチフロアブルに代えてイカズチ WDG の 1,500 倍 (前日、2 回) を使用する。 ②【代替】カイガラムシ類 発生園は、ハチハチフロアブルに代えて、コルト顆粒水和剤の 2,000 倍 (前日、3 回) を使用する。
6	月 日	6月上旬 (前回から 10日後)	アビオン E (展着剤) 100m㍓ アルバリン顆粒水溶剤 50g トレノックスフロアブル 200m㍓ マイコシールド 66g	前日 30日前 28日前	3回 5回 5回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類 カメムシ類	
7	月 日	6月中下旬	アビオン E (展着剤) 100m㍓ デランフロアブル 166m㍓ ダーズバン DF 33g スターナ水和剤 100g	14日前 14日前 7日前	2回 2回 3回		せん孔細菌病 ホモブシス腐敗病 黒星病、灰星病 ハマキムシ類 シンクイムシ類	①晩生種で、せん孔細菌病 多発園は、スターナ水和剤に代えてマイコシールドの 1,500 倍 (28 日前、5 回) を使用する。
8	月 日	7月上旬	展着剤 10m㍓ ナリアWDG 50g イカズチWDG 66g	前日 前日	2回 2回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アザミウマ類	①ナリア WDG はぶどう (ピオーネ、サニールージュ)、西洋梨・レクチェに薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。 ②ハダニ類 発生園はコロマイト乳剤の 1,000 倍 (7 日前、1 回) を加用する。
9	月 日	7月中下旬	展着剤 10m㍓ オンリーワンフロアブル 50m㍓ エクシレル SE 20m㍓	前日 前日	3回 3回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 モモハモグリガ	①ハダニ類 発生園はダニコングフロアブルの 2,000 倍 (前日、1 回) を加用する。
10	月 日	8月上旬	展着剤 10m㍓ ベルコートフロアブル 50m㍓ アーデントフロアブル 50m㍓	前日 前日	2回 3回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類	
11	月 日	8月中下旬	展着剤 10m㍓ アルバリン顆粒水溶剤 50g オーシャインフロアブル 50m㍓	前日 前日	3回 3回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アブラムシ類	①【もも混植園】アザミウマ類 発生園は、ディアナ WDG の 10,000 倍 (前日、2 回) を加用する。
12	月 日	9月上旬	展着剤 10m㍓ ベルコートフロアブル 50m㍓	前日	2回		灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類	①【もも混植園】シンクイムシ類 発生園は、アーデントフロアブル 2,000 倍 (前日、3 回) を加用する。
13	月	収穫終了後						*ダイアジノン水和剤 34 は 1 回目の散布のみ使用する。
14	月	9月上中旬~	アビオン E (展着剤) 100m㍓ IC ボルドー 412 3.3kg	—	—		せん孔細菌病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ若齢幼虫	①【代替】ICボルドー412に代えて、ムッシュボルドーDFの500倍(開花前まで)でもよい。薬害が心配される場合は、クレフノンの100倍を加用する。
15	月 日	10月上旬 3回散布	ダイアジノン水和剤 34 100g	21日前	3回			②コスカシバ 発生園は、フェニックスフロアブルの 500 倍 (開花期まで、1 回) を樹幹部及び主枝に十分散布する。

◆ 混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル (DF) ⇒顆粒水和剤 (WDG) ⇒水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します